

登山者のSNS投稿を生態系調査に活用 ～環境省×YAMAP みんなで守る山岳生態系プロジェクト～ 第1弾「リアルタイムライチョウモニター」

2022/03/11

環境省信越自然環境事務所
株式会社ヤママップ

環境省と株式会社ヤママップは、令和4年度より登山地図GPSアプリ「YAMAP」のユーザー投稿を山岳生態系保全・調査に活用する取り組み「みんなで守る山岳生態系プロジェクト」を開始します。その第1弾として、令和4年度には中央アルプスにおけるライチョウ保護増殖事業への貢献を目的とし、登山者参加型ライチョウ生息域調査「リアルタイムライチョウモニター」に着手します。



みんなで守る山岳生態系プロジェクトとは？

地球温暖化などの人為的要因により、日本国内における生物多様性は今、加速度的にその状況を悪化させています。特に高山地域における生態系は、地理的特徴から環境変動の影響を受けやすく、継続的な調査を実施し、保全活動を計画していくことが強く求められています。しかしながら、刻々と変化する状況を継続的・広域的に調査することは人員的観点からも難しく、調査・保全活動の大きな課題となっています。

「みんなで守る山岳生態系プロジェクト」では、累計ダウンロード数290万人（2022年1月現在）の国内No.1シェア登山地図GPSアプリ「YAMAP」（※1）に寄せられる活動日記（登山記録の投稿）の中から、調査対象種に関する投稿（※2）を抽出、環境省と連携することにより、継続的・広域的な登山者参加型の山岳生態系調査を実現することを目的としています。



YAMAPが本取り組みに参画する意義

YAMAPは登山道の道案内機能やユーザーが活動日記を共有するSNS機能、山の情報検索機能などを備えた登山の総合アプリであり、登山者が日常的に活用しているものです。そのため、投稿数が圧倒的に多く、継続的・広域的な情報収集が必要な本取り組みに適切なツールであるといえます。

また、活動日記内で投稿された写真の撮影位置を特定する機能も有しており、生息域分布調査に有効な写真データを抽出することが可能です。

特にユーザーに呼びかけを行っていない2021年でも、ライチョウに関する投稿数は全国で1,500件を超えており、本取り組みにおいて有益な情報を提供できると考えています。

令和4年度の事業内容

令和4年度の事業では、個体数増加に伴い生息エリアが拡大することが予想される中央アルプスにおけるライチョウの生息状況を効率的に収集することを目的に、YAMAPにおける投稿を用いてライチョウの生息情報を収集し、保護活動に活用します。

今後の展望

本調査手法では、登山者の協力を得ることで継続的・広域的に山岳地域の動植物をモニタリングすることが可能です。令和5年度以降の事業内容・調査対象については、令和4年度の実施状況を踏まえて環境省各部門や関係する有識者と調整しながら決定していく予定です。

YAMAPについて

電波が届かない山の中でも、スマートフォンのGPSで現在地と登山ルートがわかる、登山を楽しく安全にするアプリ。山行の軌跡や写真を活動記録として残したり、山の情報収集に活用したり、全国の登山好きと交流したりすることもできる、日本最大の登山・アウトドアプラットフォームです。2022年1月に累計290万ダウンロードを突破。 URL : <https://yamap.com/>

※1 : 2021年8月 登山アプリ利用者数調査 (App Ape 調べ) ※2 : 共有内容は、ユーザーが公開している情報に限定されます。

本件に関するお問い合わせ先

環境省 信越自然環境事務所 担当：小林 tel : 026-231-6573 mail : NCO-NAGANO@env. go. jp
株式会社ヤマップ 担当：千田 tel : 050-5472-4602 mail : info@yamap. co. jp